



# 石川県農業戦略室 営農戦略室

令和8年1月8日  
No.102

## 明けましておめでとうございます

JAグループ石川営農戦略室 室長 川本 幸進

旧年中は、営農戦略室の取組に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

国が公表した「農林業センサス2025」では、本県の基幹的農業従事者が5年前と比べて大きく減少するとともに、高齢化も一層進行するなど、農業生産基盤の弱体化が改めて明らかになりました。現場の皆様におかれましては、日々その変化を強く実感されていること思います。

本年は、第40次基本戦略の2年目を迎えます。「将来を切り拓く持続可能な農業の実現」に向け、TACによる出向く活動をはじめ、事業承継や新規就農支援、担い手コンサル、農業労働力支援、農業DX、営農指導の強化など、JAにおける地域農業戦略の実践支援に現場と一体となって取り組んでまいります。

あわせて、国消国産運動の取組を着実に進めるとともに、JA直売所の運営改善、青壮年部活動の活性化にも力を入れてまいります。

本年も引き続き、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

政策  
推進

### 令和8年生産基準数量は116,432トン



12月12日(金)に石川県農業活性化協議会の通常総会を開催し、本県の令和8年産米生産基準数量を116,432トンに決定いたしました。

令和7年は、令和の米騒動に伴う備蓄米の放出や農水省による需要量の計算方法の見直しなど、米をめぐる情勢は大きく変化しましたが、本県としては、これまで同様に「需要に応じた生産」により、農業者の所得確保を図ることとしています。

今後、生産者向けチラシを地域農活協宛に案内する予定ですので、ご活用頂き「需要に応じた生産」について、引き続きご協力をお願い致します。

石川県内の農業者の皆さまへ  
需要に応じた  
米生産に取り組みましょう!

取り組みのポイント

①令和の米騒動と呼ばれる米不足により、6年産米価が高騰したことを受け、7年産主食用米の生産量は全国で大きく増加しました。しかししながら、来年6月末以降の民間在庫量の予測や、消費者の買い控えの動きから米のだぶつきが報じられています。

米価を安定させるためには、主食用米をきめどきに需要に応じた作物の生産に転換して取組むことが必要です。

主食用米の需要量の推移

相対引当率と民間在庫量の推移

②生産基準数量算定の基礎となる水田台帳の整備とともに、地域の作付計画の作成と各種交付金事業の円滑な実施に向けて、引き続き4Pの提出をお願いします。

③4P・米生産実施計画及び付箇書認証申請書と税金消込申込書兼用提出書

国の制度(転作の作付助成等)を最大限活用しつつ、所得確保を図りましょう!

水稲・麦・大豆、芸芸作物など地域に適した作物をバランス良く組み合わせ、水田をフルに活用することにより、所得の向上と耕作放棄地の解消を図りましょう。

ナラシ対策や収入保険等のセーフティネットに加入しましょう!

安定した農業経営を図るため、「ナラシ対策」や「収入保険」等のセーフティネットに加入しましょう。





12月19日(金)に石川県農業会館にて開催し、JA常勤役員をはじめ、営農担当部課長、TAC・営農担当者など、約100名にご参加いただきました。

大会では、2年ぶりとなる扱い手推進ロールプレイングを実施し、「JA出荷の少ない扱い手に対しての米集荷推進及び事業間連携による融資を伴う資材購入や共済加入等の提案」をテーマに、4JAが扱い手へのアプローチ手法や提案方法など、現場の実態を再現する迫真の演技を披露しました。

いずれも素晴らしいロールプレイングでしたが、厳正なる審査の結果、JA石川かほくが最優秀賞、JA能美が優秀賞に選ばれました。

また、優良事例発表として、全国TAC・出向く活動パワーアップ大会2025にて全国受賞されたJA小松市とJA金沢市・山本氏に、取り組みの事例発表いただいたほか、その栄誉をたたえ表彰を行いました。

このほか、JA全中より営農指導事業、JA全農よりTAC活動について情勢報告をいただき、全国的な活動状況や今後の方向性などを共有しました。

JAグループ石川では、今後もTAC・営農活動における体制整備を図るとともに、扱い手ニーズに応えられる人材育成に取り組んでまいります。



## 事業間連携による取組み



上記大会の扱い手推進ロールプレイングでも“事業間連携の取り組み”をテーマに盛り込みましたが、県内JAの取り組みについてご紹介いたします。

### 【JA石川かほく】

月に1度、JA役員・営農企画課・融資運用課・農機センターで事業間連携会議を開催し、扱い手からの要望事項や融資見込み等について部署間での共有を図っています。

また、本年度より管内の集落営農組織の扱い手台帳を作成し、情報を一元化するとともに、経営指導できるようにJAバンク石川信連を招き、決算書の見方等の勉強会を実施し、スキルアップに努めています。



## 【おにぎり配布】活用回数について



JAグループ石川では、毎月2日を『おにぎりの日』と制定し、各JA年12回（各回最大240個）まで、おにぎりを無償で提供しており、本年度も多くの皆様にご活用いただいています。

令和7年12月末現在における各JAの活用回数（現時点で営農戦略室へ申込いただいたもの（開催日前）を含む）を、下記のとおりお知らせいたしますので、12回未満のJAの皆様におかれましては、積極的にご活用いただければ幸いです。



## 【活用回数一覧（有償分を除く※13回目以降は、有償での提供が可能）】

JA名	活用回数	残数
加賀	12	—
小松市	12	—
根上	3	9
能美	10	2
白山	4	8
松任	12	—
ののいち	1	11
金沢中央	1	11

JA名	活用回数	残数
金沢市	12	—
石川かほく	9	3
はくい	3	9
志賀	2	10
能登わかば	6	6
のと	6	6
内浦町	5	7

## ～1月の予定～

期日	内容	場所
1月9日(金)	営農経済部門管理者研修会	教育センター
1月13日(火)	今さら聞けない野菜づくりのコツと裏ワザ (品種と病害虫対策)	WEB
1月16日(金)	農業経営指導者研修会	JA電算センター
1月21日(水)	共同利用施設・再編合理化実践セミナー	WEB
1月24日(土)	県青壮年部協議会 「令和7年度実績発表・青年の主張県大会、 設立70年記念式典」	ホテル金沢
1月28日(水)	JA労働力確保連絡協議会及び職業紹介事業 担当者連絡会	教育センター

【お問い合わせ先】JAグループ石川営農戦略室 西野

TEL:076-240-5052 FAX:076-240-9120

